

2024/2025 年度 第 3 回全国委員会 議事要録

日時: 2025 年 3 月 9 日(日) 14:00-16:56

会場: オンライン (Zoom)

出席者: 加藤[千葉地域]、下山[東京地域]、中川[東海地域]、長坂[京都地域]、吉田[大阪地域]、徳田[兵庫地域]、諏訪[広島地域]、柿原[九州地域] (以上、グループ推薦全国委員)

楯[兼 学術基盤整備研究]、赤澤、有馬、和知、上村 (以上、常任委員)

磯本[兼 北海道地域(代理)]、大田原、松原 (以上、常任(特定)委員)

欠席者: 呑海(常任委員)

配付資料:

1. 委員会・事務局報告事項
 - 1.1. 大図研オープンカレッジ(DOC)現況報告
 - 1.2. 会報『大学の図書館』企画・編集状況報告
 - 1.3. 収支状況報告
 - 1.4. 2024/2025 年度会費納入状況報告
 - 1.5. 出金内容明細
 - 1.6. 地域グループ別会費納入状況一覧(2024 年 12 月 1 日現在)
 - 1.7. 除籍者(会費未納者)リスト **取扱注意**
 - 1.8. 会費長期(3 年度分)未納者リスト **取扱注意**
 - 1.9. 会員現況報告
2. グループ報告事項
3. 審議事項
 - 3.1. 第 56 回全国大会実施概要(案)
 - 3.2. 第 56 回全国大会予算案
 - 3.3. 『大学図書館研究会会誌』査読規程(案)
 - 3.4. 『大学図書館研究会誌』執筆要領(案)
 - 3.5. 会費徴収における未定金発生時の処置方針について

議事:

1. 委員会・事務局報告事項
 - 1.1. 全国大会委員会 (担当: 赤澤)
[報告事項・資料なし]
 - 1.2. 研究企画委員会 (担当: 有馬)
 - 1.2.1. 大図研オープンカレッジ(DOC)現況報告
[報告資料 1]
 - 有馬委員から、資料にもとづき実施予定の概要について説明があった。
 - 1.3. 会報編集委員会 (担当: 上村)
 - 1.3.1. 会報特集企画・編集状況報告
[報告資料 2]
 - 上村委員から、資料にもとづき報告があった。

1.3.2. 執筆者メールアドレス掲載と原稿提出票の改訂

[報告資料なし]

- 上村委員から、上記のとおり報告があった。
 - 会報への執筆者 E-mail 掲載要否について特集企画担当グループから問合せを受け、会報編集委員会で検討した結果、原稿提出票を以下のように改訂し、2025年1月12日(日)開催の2024/2025年度第4回常任委員会で報告の上、施行した。
 - 連絡先 E-mail を記入する欄を追加
 - その E-mail を会報に掲載してよいかどうかを問う欄を追加

1.4. 会誌編集委員会 (担当: 大田原)

[報告事項・資料なし]

1.5. 広報委員会 (担当: 松原)

[報告事項・資料なし]

1.6. 五十周年記念事業記念出版物編集委員会 (担当: 楯)

[報告事項・資料なし]

1.7. 事務局 (担当: 上村)

- 上村委員から、以下の事項について報告があった

1.7.1. 事務局業務報告

[報告資料なし]

- 2024年12月22日(日) 2024/2025年度第2回全国委員会
- 2025年1月12日(日) 2024/2025年度第4回常任委員会
- 2025年2月9日(日) 2024/2025年度第5回常任委員会
- 2025年3月9日(日) 2024/2025年度第6回常任委員会
 - 議事要録は直近常任委員会以外、大図研ウェブページに掲載済

1.7.2. 大図研みずほ銀行口座改称・住所変更手続き

[報告資料なし]

- 大会基金口座として運用中、変更手続き未済

1.7.3. 過去3ヶ年の会費納入状況公開

[報告資料なし]

- 2025年1月8日(水)に公開済。dtkMLを通じて会員へ周知済

1.7.4. 会員名簿の公開

[報告資料なし]

- 常任委員会で確認済、最終調整中

1.7.5. 会員ID(DTKID)照会 form の公開

[報告資料なし]

- 2025年1月8日(水)に公開済。dtkMLを通じて会員へ周知済

1.7.6. 会員専用ページパスワード照会 form の公開

[報告資料なし]

- 会費納入依頼に合わせ、2025年3月3日(月)に公開済。dtkML等での周知は未対応
- 大図研ウェブページの「問合せ先」に掲載するよう調整中

1.7.7. 「議事要録作成の手引き」の公開

[報告資料なし]

- 全国委員会等の議事要録を一定の形式で作成できるようにすることを目的に作成し、常任委員会で検討のうえ決定した。
- 本委員会開催に先立ち全国委員に共有
- 「全国委員用スタッフページ」にも掲載予定

1.8. 事務局出版担当 (担当: 赤澤)

[報告事項・資料なし]

1.9. 事務局会計担当 (担当: 澤木・上村)

1.9.1. 収支状況報告

[報告資料 3]

- 上村委員から資料にもとづき報告があった。

1.10. 事務局会費徴収担当 (担当: 赤澤・渡邊)

1.10.1. 会費納入状況

[報告資料 4]

- 赤澤委員から資料にもとづき報告があった。

1.10.2. 会費徴収口座出金状況

[報告資料 5]

- 赤澤委員から資料にもとづき報告があった。

1.10.3. 地域グループ別会費納入状況

[報告資料 6]

- 赤澤委員から資料にもとづき報告があった。

1.10.4. 除籍者(会費未納者)リスト **取扱注意**

[報告資料 7]

- 赤澤委員から資料にもとづき報告があった。
- また、上村委員から、報告資料 7 には会員 ID 情報が掲載されているため特に取扱いに注意を要すること、及びそのほかの会員 ID が掲載されている資料も同様の取扱いとしてほしい旨の補足説明があった。

1.10.5. 会費長期(3年度分)未納者リスト **取扱注意**

[報告資料 8]

- 赤澤委員から資料にもとづき報告があり、所属グループの未納会員への納入呼びかけへの協力依頼があった。なお、同委員から、事務局よりも近いと思われる所属地域グループ会員からの呼びかけには、督促だけではなく会員を各グループにつなぎ

とめる効果もあると考えているとの説明があった。

- また、上村委員から、未納者に対し会費徴収担当が個別に連絡を取ることで納入されるケースが多くあること、しかしながら個別連絡をすることの事務負担は大きいため各グループの協力がぜひ必要であることの補足説明があった。

1.11. 事務局組織担当 (担当: 青山・上村)

1.11.1. 会員現況報告

[報告資料 9]

- 上村委員から、資料にもとづき報告があった。

1.12. 事務局 ML 担当 (担当: 磯本)

[報告事項・資料なし]

1.13. その他

- 特になし

2. グループ報告事項

[グループ報告資料]

- 2.1. 北海道地域グループ
- 2.2. 千葉地域グループ
- 2.3. 東京地域グループ
- 2.4. 東海地域グループ
- 2.5. 京都地域グループ
- 2.6. 大阪地域グループ
- 2.7. 兵庫地域グループ
- 2.8. 広島地域グループ
- 2.9. 九州地域グループ
- 2.10. 学術基盤整備研究グループ

3. 審議事項

3.1. 前回全国委員会議事要録確認 (担当: 全員)

[公開済みのため審議省略]

3.2. 第 56 回全国大会実施概要案の検討 (担当: 全国大会委員会/赤澤)

[審議資料 1]

- 赤澤委員から資料にもとづき説明があり、案のとおり承認された。
- 案及び意見交換の主な内容は以下のとおり。
 - 大会の開催概要
 - 日程: 2025 年 9 月 13 日(土)~14 日(日)の 2 日間
 - 会場: 奈良女子大学
 - オンサイト開催とし、オンライン配信は基本的に実施しない。

なお、全国委員から質問があり、開催概要について、本委員会終了の後は公開可能とすることを確認した。

- 全国大会実行委員会(大会の企画、準備と運営を担当)
 - 委員長は長坂和茂氏(京都地域グループ全国委員)とする。
 - 委員の構成は次のとおり(敬称略)。会場確保等のため京都地域グループ所属会員に多く参画いただく。
 - 赤澤久弥(常任委員(全国大会委員長))
 - 上村順一(常任委員(事務局長))
 - 安東正玄(京都地域グループ委員)
 - 内田栞(京都地域グループ委員)
 - 坂本拓(京都地域グループ委員)
 - 野間口真裕(京都地域グループ委員)
 - 原健治(京都地域グループ委員)
 - 山上朋宏(京都地域グループ代表)
 - 山下ユミ(京都地域グループ委員)
 - 若狭あや(京都地域グループ委員)
 - 全国委員(全員)
 - このほか、会員から委員を募る
 - 会員へ全国委員及び実行委員長から委員の募集を行い、4月にキックオフミーティングを行う。

- 大会プログラム
 - 1日目 9月13日(土)
 - 午後
 - 研究発表
 - シンポジウム
 - 交流会
 - 2日目 9月14日(日)
 - 午前:課題別分科会
 - 第1分科会:資料保存(担当:吉田(大阪)、和知(常任))
 - 第2分科会:学術情報基盤(担当:楢(学術基盤)、柿原(九州))
 - 第3分科会:キャリア形成(担当:徳田(兵庫)、中川(東海))
 - 昼:
 - 協賛企業企画
 - 午後:課題別分科会
 - 第4分科会:利用者支援(担当:中筋(北海道)、諏訪(広島))
 - 第5分科会:大学図書館史(担当:加藤(千葉)、長坂(京都))
 - 第6分科会:出版・流通(担当:下山(東京)、有馬(常任))

分科会のテーマ及び担当については意見交換のうえ、上記のとおり決定した。

なお、自主企画について、今後、全国大会実行委員会にて検討のうえ、例年どおり設定することになる見込みであることを確認した。

- 学生(社会人学生は除く)の参加費を無料とすることについて
 - 赤澤委員及び長坂委員(全国大会実行委員長)から、大学図書館を就職先の候補に考えてもらえるきっかけとすること、また、学生に当会への関心を持ってもらうことを目的としているとの趣旨説明があった。その後、意見交換のうえ、次のことを確認し、承認された。

- 学生には学部学生及び大学院生の両方を含む。
 - 研究発表は、学生であるかどうかを問わず、会員(複数名による発表の場合は少なくとも1名が会員)であることを要件とする。
- 学生(社会人学生は除く)の参加人数は、多くて20名程度と想定しており、大会経費が赤字に陥ったり、確保会場の再検討が必要になるほどに参加者数が増加したりといったことは起こらないと予想している。
- 一般参加者とは異なる参加費設定をすることにより生じる資格確認などの事務については、本件を提案した京都地域グループ所属の実行委員が中心となって対応する。
- 広報の範囲や方法は、今後、実行委員会で検討する。
- 大学図書館での人材獲得について
 - 司書課程は主に公共図書館での業務を想定した内容であることから、司書課程在籍の学生であっても、大学図書館の業務に関心をもってもらうには積極的な働きかけが必要な状況。
 - 国立大学図書館協会近畿地区協会が「きみも大学図書館で働いてみないか(キダハミ)」、「きみが大学図書館を変えてみないか(キダカミ)」というリクルート活動を行っている例がある。

3.3. 第56回全国大会予算案の検討(担当: 全国大会委員会/赤澤)

[審議資料2]

- 赤澤委員から資料にもとづき説明があり、案のとおり承認された。

なお、以下について、意見交換及び確認がなされた。

- 講師交通費の増額
 - 従来、全国大会は会員による発表の場であるとの考えのもと分科会に外部講師を招くことは最小限に抑える予算となっていたが、分科会の運営上、外部講師を招きたいケースが増えているとの意見がこれまでの全国大会実行委員から多く寄せられていることから、増額する。
 - 会員外の講師の人数によらず、1分科会あたりの予算は2万円を上限とする。
 - ✧ 各講師に支払う交通費については、各分科会の上限の範囲内で分科会運営担当者の裁量に委ねる。
 - 参加費については従来どおり、講師を担当いただく分科会については無料だが、それ以外のプログラムに参加する場合は参加費の支払いを必要とする。
- 実行委員会費(Backlog 使用料)
 - Backlog のグレードアップによる費用増加を避けるため、Backlog に登録する実行委員の人数は30名以下とする。
 - ✧ Backlog には全国委員やその他申し出のあった会員を優先的に登録する。
 - ✧ 残りの枠は京都地域グループからの登録者で調整し、登録しなかった委員への連絡は京都地域グループ所属の委員から適宜行うこととする。

- 機器費について
 - 前回の委員会で、eduroamによるWi-Fiが使用できない参加者への配慮としてWi-Fiルータをレンタルしてネットワーク環境を提供してはどうかとの意見があったが、前回までの全国大会でも行っておらず、かつ特段の必要性が認められないことから実施しない。予算案にも計上していない。
- 通信費について
 - 郵便料金が値上げされたが、事務手続きで文書を郵送することはほぼ無く、特に影響は無い。チラシを近隣の大学に送付するかどうかは全国大会実行委員会が検討する案件となるが、おそらく予算の範囲内となる。

3.4. 会員総会の開催形式と日時の決定（担当：事務局/上村）

[審議資料なし]

- 上村委員から以下のとおり説明があり、開催時期及びオンライン開催とすることについて承認された。なお、開催日時については常任委員会で決定することとなった。
 - 会員総会は、全国大会の前週にオンラインで開催したい
 - オンサイト開催よりも参加が見込めるため
 - 開催日候補
 - 2025/09/06(土) 午前・午後前半・午後後半
 - 2025/09/07(日) 午前・午後前半・午後後半

3.5. 会誌に係る規程・要項の検討（担当：会誌編集委員会/大田原）

3.5.1. 査読規程案

[審議資料 3]

- 大田原委員から資料にもとづき説明があり、案のとおり承認された。
- なお、委員から質問があり、「2. 査読の対象」で規定されている原稿の種類のうち「報告」は、過去号に掲載されていたような例会等の開催報告は該当せず、実践事例報告等を想定していることを確認した。

3.5.2. 執筆要領修正案

[審議資料 4]

- 大田原委員から資料にもとづき説明があり、案のとおり承認された。
- なお、同委員から、参考文献の記載方法に採用した科学技術情報流通技術基準の参照文献の書き方(SIST02-2007)は今後の改訂がなされないことがわかっているが、会報との整合性の考慮、ならびに会誌への投稿を予定し受付を待っている会員がおり急ぎの対応が待たれることから、従来そのままとしたとの補足説明があった。

3.6. 会費徴収における未定金発生時の処置方針（担当：事務局会費徴収担当/渡邊・赤澤）

[審議資料 5]

- 赤澤委員から資料にもとづき説明があり、案のとおり承認された。
- なお、委員から質問があり、対象会員に連絡を取るも応答がなかった場合に取られる

措置については、初回連絡時の文面に含めて対象会員にあらかじめ通知することについて確認した。

3.7. その他

- 特になし

4. その他

4.1. 次回開催日

- 現時点では未定
- 必要が生じればメール審議(フォーム回答)を行う可能性はある

4.2. その他

以上